

第 31 回広島県障害者卓球大会（身体障害者の部）

実 施 要 項

- 1 目 的 卓球大会を通じて参加者との交流を図り、スポーツへの興味、関心を高めるとともに、障害のある人のスポーツの普及に努める。
- 2 主 催 広島県 公益社団法人広島県パラスポーツ協会
広島県立総合リハビリテーションセンター スポーツ交流センター
- 3 後 援 一般社団法人広島県卓球協会 広島身体障害者卓球大会実行委員会
(予 定) 一般社団法人広島県身体障害者団体連合会 広島県身体障がい者施設協議会
社会福祉法人広島県社会福祉協議会 社会福祉法人広島県視覚障害者団体連合会
社会福祉法人東広島市社会福祉協議会 東広島市教育委員会
- 4 協 力 一般社団法人広島県卓球協会 公認パラスポーツ指導者 おりづるサポーター
(予 定)
- 5 日 時 令和 8 年 7 月 2 6 日（日）
選手受付…… 9：00～9：45
開会式 ……… 9：45～
競技開始…… 10：00～
閉会式 ……… 15：30（予定）
- 6 会 場 スポーツ交流センター
〒739-0036 東広島市西条町田口 295-3
TEL：082-425-6800 FAX：082-425-6789
- 7 競技種目 一般卓球（個人戦） サウンドテーブルテニス（個人戦）
(障害区分) **肢体不自由**
 - ① 立位（上肢）
 - ② 立位（下肢・体幹）
 - ③ 車いす使用者
 - ④ 立位（脳原性麻痺・片側障害）**視覚障害**
 - ⑤ アイマスク（アイエード）あり【サウンドテーブルテニス】
 - ⑥ アイマスク（アイエード）なし【一般卓球】**聴覚・平衡機能障害、音声・言語障害、そしゃく機能障害**
 - ⑦ 聴覚障害**内部障害**
 - ⑦ 内部障害

※障害区分の詳細は、＜別表＞を参照のこと。 ※年齢区分は設けない。

- 8 競技方法 ・原則としてリーグ戦（男女別、障害区分別）により予選を行い、上位者で決勝トーナメント戦を行う。
・3位決定戦は行わない。
・5ゲームマッチ（3ゲーム先取）／1ゲーム11点とする。（サウンドテーブルテニスも同様）
・一般卓球の使用球は、公益財団法人日本卓球協会公認プラスチック球とする。
・サウンドテーブルテニスの使用球は、公益財団法人日本パラスポーツ協会公認プラスチック球とする。
・組み合わせは原則として同じ障害区分・同性同士とするが、参加人数により異なる障害区分、異性選手との組み合わせになることがある。
- 9 競技規則 令和8年度全国障害者スポーツ大会競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
- 10 表彰 障害区分別、男女別の各1位～3位までに、閉会式にて賞状とメダルを授与する。
- 11 参加資格 身体障害者手帳を所持している中学生以上の人で広島県内に在住する人。
（ただし、全国障害者スポーツ大会選考対象者は令和9年4月1日現在で13歳以上の人）
- 12 申込方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し、**令和8年7月3日（金）※必着**までにスポーツ交流センターに持参するか、FAX・Eメール・郵送で申し込む。申込用紙はホームページからダウンロードすることができる。（FAX・Eメール・郵送の場合は必ず電話等により着信の確認を行うこと。）

【申込・問い合わせ先】

広島県立総合リハビリテーションセンター スポーツ交流センター
〒739-0036 東広島市西条町田口 295-3
TEL：082-425-6800 FAX：082-425-6789
HP：<https://www.rehab-hiroshima.org/orizuru/>
Eメール：oridsuru@hiroshima-wsc.jp
担当：山下・上條・福馬

- 14 留意事項 ・本大会は、第26回全国障害者スポーツ大会（日本のひなた宮崎障スポ）の広島県選手団の選手選考を兼ねるものとする。ただし、内部障害者及び、広島市在住者は選考の対象から除く。
（内部障害者は全国障害者スポーツ大会において、卓球の出場区分がないため選考対象とならない。また、広島市在住者は広島市選手団となるため本大会においては選考対象外となるが、広島市在住者であっても広島市以外に通学、通所、入所している場合は選考対象となる。）
・主催者においては、応急処置しかできないので、参加にあたっては自己の責任において健康と安全に十分留意すること。
・受付時間は9：00～9：45までとし、時間厳守とする。受付を済ませていない場合は棄権とみなす場合がある。
・ラケットの貸し出しは行わないので、各自で用意すること。
※ラケットの本体を覆っているラバーの表面、あるいは被覆されていない本体の表面は無光沢で、片方は黒、他方は片方の黒やボールの色とはっきり区別できる明るい色とする。

・ゼッケンは各自で必ず用意すること。試合開始時に審判員が確認する。

※大きさは任意・背中につける

ふりがな 氏名	(例)
------------	-----

- ・車で来場される方は、リハビリテーションセンターの職員駐車場を使用すること。
(車いす専用駐車場はドライバーが車いすの方のみ利用可)
- ・昼食は各自用意すること。(リハセンターの食堂は土日祝が定休日)
- ・競技中のフラッシュ撮影は禁止とする。
- ・**競技中の事故防止のため、コート内での写真および動画撮影は不可とする。**
- ・貴重品は各自で管理すること。
- ・FAX または E メールで申し込みをした場合は必ず電話等で着信確認を行うこと。着信確認を行わず、エントリーできていない場合は大会に出場できない。
- ・大会プログラム、大会報告書及びスポーツ交流センター機関誌に、障害区分名、氏名、競技中の写真等を掲載する場合がある。あらかじめ了承のうえ、申し込みむこと。
- ・基本的な感染対策は引き続き継続して行うこと。(咳エチケット等)

- 15 申合せ事項
- ・本大会は全国障害者スポーツ大会の障害区分を参考にした独自の障害区分で競技を行う。
(年齢区分は設けない)
 - ・原則として、競技は同一障害区分かつ同性同士で行う。ただし、各区分の参加人数により、異なる障害区分または異性選手との組合せとなる場合がある。なお、表彰は障害区分ごとに行う。
 - ・各障害区分の参加人数によっては、トーナメント戦を行わず、リーグ戦のみで順位を決定する場合がある。
 - ・ユニフォームは、公益財団法人日本卓球協会公認マーク付きのものを着用することが望ましい。ただし、本大会においては、競技用シャツ(袖・襟を除く)およびショーツまたはスカートの主たる色が、使用するボールの色と明らかに異なる場合は、公認品でなくても着用を認める。なお、白色以外のものを着用すること。
 - ・身体の障害等により特別な措置が必要な場合は、事前に申し出ること。対応については、審判長の判断により出場の可否を決定する。